

藁焼きの煙りたなびく秋収め
 西町 金澤 頼子
 一椀に恵みそろいて茸汁
 元町 印牧 安子
 おおかれの
 大枯野客を吸い込む路線バス
 緑町 齋藤 嘉子
 湯気あげてB級グルメ味噌おでん
 仲町 坂部 和子
 老いてなお五色野菜の根深汁
 元町 西崎 弘子
 ねぶかしる
 峡の里老いて二人の根深汁
 屯田町 古屋 克江
 湯たんぽを我が子の如く抱きしめる
 西岡町 渋谷みさ子
 手袋を口で外して出す小銭
 旭町 宝澤 房子
 役終へて舞ひ散る落葉風の精
 南桜町 宮腰 幸子
 亡母のせて秋の虹ゆく彼方かな
 西原町 児玉久美子
 くれなゐは
 東天の紅美しき今朝の冬
 藤本町 池田 良子
 新蕎麦の味は二の次立ち話
 仲町 徳井 隆男
 老の身にあきらめ多しそぞろ寒
 元町 竹内スミエ
 蕎麦掻きや昭和回顧の世代とて
 仲町 玉野 研一
 登校児の支度しつかり今朝の雪
 旭町 大河 茂
 冬めく夜葉を転がして風が行く
 仲町 梅基 文子



ネクタイに機嫌ななめや七五三
 旭町 大河 博子
 この腕に大根一本重きかな
 旭町 大河内清枝
 雪虫の小さき命夕せまる
 西町 岸波 君江
 胡桃割る秘伝あるとて呼ばれけり
 藤本町 高井 孝子
 大風に乗り初雪のどつと来る
 東町 高草木喜代子
 はやばやと街明り見え冬めきぬ
 西岡町 高瀬久美子
 小春日や心なごみし同期会
 東町 高橋世津子
 落花生ゆで上げ旨し味楽し
 西町 文梨 清子
 妻の手で事足る理髪去年今年
 仲町 芳賀 星子

information

絵本の館

から



新着図書

- ・中学生に贈りたい心の詩 40
(水内喜久雄 編著)
- ・手編み靴下研究所
(林ことみ 著)
- ・そろそろスマートフォン
Android 編
(NHK出版 編) ほか

今月の おすすめ絵本

『江戸の子ども ちゃんまげのひみつ』

菊地ひと美 作(偕成社)



江戸時代の男性といえば、「ちゃんまげ」。お侍さん以外も、ほとんどの方がこの髪型です。子どもころから頭を剃って髪を結い、「まげ」へと整えていきました。女の子も頭を剃っていたようですよ。

『アザラシ流水の海へ』

廣崎芳次 文/原志利 写真(小峰書店)



紋別市にある「オホーツクとつかりセンター」は、日本で唯一アザラシだけを飼育する水族館なのだそうです。お母さんとはぐれた赤ちゃんアザラシを保護し、育て、海へかえす活動を紹介しています。

